

2008年度受託研究概要報告

中年世代の スタイリッシュ軽カーのデザイン研究

研究メンバー

逸身健二郎 デザイン学部プロダクトデザイン学科教授

委託者

ダイハツ工業株式会社 第一デザイン室

1 あらまし

エコの時代を迎えた今日、軽自動車の売り上げは好調である。低燃費、維持費の安さから、2台目として購入する家庭も多い。若年層はもとより、主婦層を中心に販売台数の多いのが現状である。それがその理由にもあたるが、中年世代、とくに男性にとって軽自動車は魅力的には映らず、購入の対象とはなっていないようである。本研究では、中年世代が購入したくなるような軽自動車を考えることが主眼であり、その方法とともに、その外観のデザインを提案することを目的としている。

2 研究内容

- ①軽自動車というものを確認
- ②現状を把握するための調査
- ③中年世代が購入する車：コンセプトを設定
- ④テーマに基づく基本設計
- ⑤外観デザイン展開
- ⑥モデルでのデザイン提案

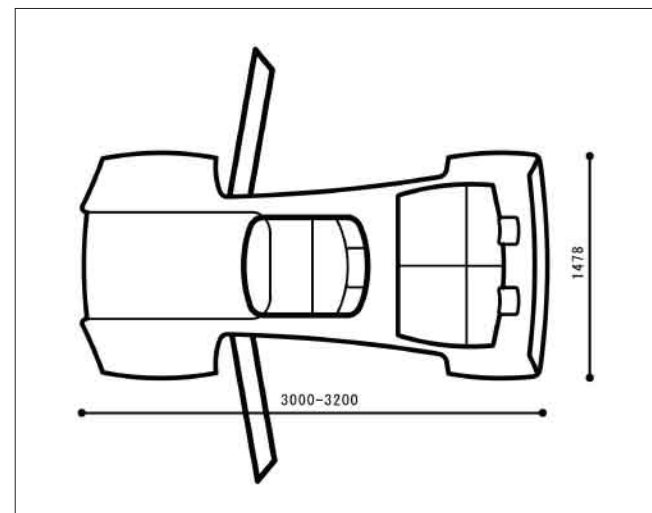


図1 コンセプト図

3 結果

- ①はレポートとしてA4冊子で提出。
- ②は結果をまとめ報告書を提出。
- ③④図1を参照。
- ⑤スケッチを一部掲載。(図2)
- ⑥縮小クレイモデル (2案) (写真1)

4 あとがき

研究を進めて行くにつれ、中年男性に軽自動車を購入させることは、そもそも不可能に近いことではないかと考えはじめた。いくらスタイリッシュであろうとも、「軽」である限り購入の対象とはならないのではと。

調査結果からは、経済的なことが理由と考えられるが、中年男性は軽自動車に乗ることは、潜在的には積極的であると読めた。ただし、乗ることと買うことは違うのである。

そのようなことから、対象は家庭で複数台必要な中年男性なる夫とし、従来なら妻が乗るような軽に夫が乗るというように考えた。そしてその車は、安いをイメージさせるのではなく、エコを感じさせること。

そこから超小型の3人乗りのコンセプトに行き着いたわけである。決してスポーツカーのようなものではなく、背広姿で運転しても様になるような高級なイメージが醸し出せていれればと願う。

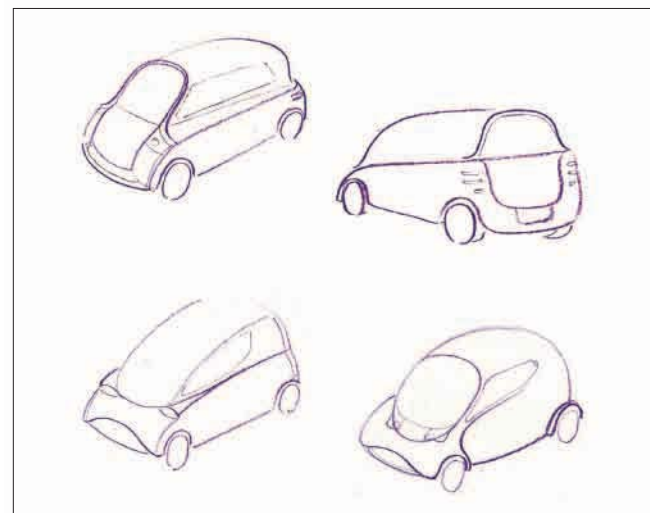


図2 検討スケッチ

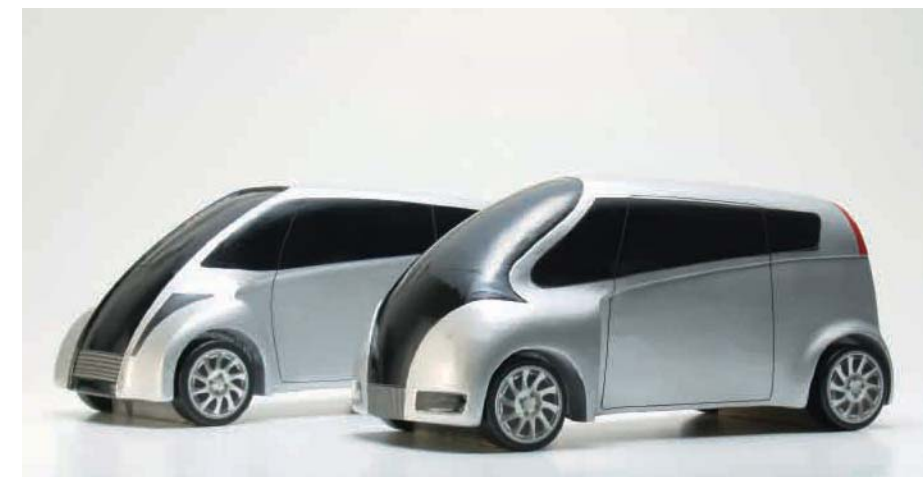


写真1 最終クレイモデル